

「 令和3年度 学校評価実施報告書 」

学校（園）名 （ 鳴門市第二中学校 ）

学校（園）長名 （ 岡田 志麻 印 ）

1 令和3年度 重点評価項目

<ul style="list-style-type: none"> ・人権を尊び、たくましく生きる力と自主性・創造性の育成 ・基本的生活習慣の確立と学力の向上
--

2 アンケート評価

対 象	実施日（期間）
教職員	令和3年12月23日(木)
児童・生徒	令和3年12月13日(月)
保護者	令和3年12月13日(月)～17日(金)
地域・その他	令和4年 2月24日(木)

3 自己評価

評 価 日	令和4年 2月25日(金)
評価者・組織（名称）	鳴門市第二中学校
プラスの評価	・防災学習や避難訓練等を通して、生徒の危機管理意識の向上と主体的に防災に取り組む実践力を培うことができた。
マイナスの評価	・PTA活動や保護者の学校行事への参加が十分にできなかったことが課題である。
改善方策・意見	・教育の資質向上を図るため、個の学びと協働的な学びの充実に向けて、指導の工夫・改善に努める。
公表日・方法	令和4年3月ホームページ

4 学校関係者評価

評 価 日	令和4年 3月2日(水)
評価者・組織（名称）	鳴門市第二中学校学校運営協議会
プラスの評価	・「ナルニ運動」のもと、挨拶やルールの尊重・支え合う仲間づくりを実践している。
マイナスの評価	・学習方法の制限や行事等の中止・延期などで生徒の学習意欲や学力低下が心配される。
改善方策・意見	・感染症予防対策や心のケアと学校の教育活動との両立をお願いしたい。
公表日・方法	令和4年3月ホームページ

5 総括・次年度の課題

本年度も、感染症拡大防止のために行事や体験学習の中止や延期により、制約のある学びとなったが、本校の教育目標の達成のために、時期や内容等を工夫して、教育活動を展開した。
来年度も、感染状況をみながら、可能な限り、体験学習やグループワークなどの学習形態を取り入れ、生徒の思考・判断・表現力等の育成を図りたい。また、タブレットを活用し、授業の工夫改善に努め、生徒の学力保障につなげたいと考える。